

福祉



ふれあいネットワーク

Vol.295

かつらぎ

2022年
(令和4年)

10月



デイサービスでの夏祭り 金魚くいの様子

特集 社協 花園支所

花園地域で暮らし続けられる
拠点施設でありたい!



社協
花園支所

花園地域で暮らし続けられる

拠点施設でありたい！



花園地域は自然が豊か。山の谷間に有田川が流れ、一歩外に出て深呼吸をすると、爽快な気持ちになります。
また、夜に空を見上げると、無数の星が心を癒してくれます。

令和4年4月、光プロードバンドが整備され、梁瀬小学校においても児童がパソコンを使い、オンラインで楽しく会話をしています。

このような花園地域で安心して暮らし続けるためには、だれもが生きがいを持つて、笑顔で暮らせることが大切です。

花園地域は自然が豊か。山の谷間に有田川が流れ、一歩外に出て深呼吸をすると、爽快な気持ちになります。
また、夜に空を見上げると、無数の星が心を癒してくれます。

社会福祉協議会花園支所では、「人々がつながり続けられる拠点施設でありたい」と、さまざまな取り組みを行っています。

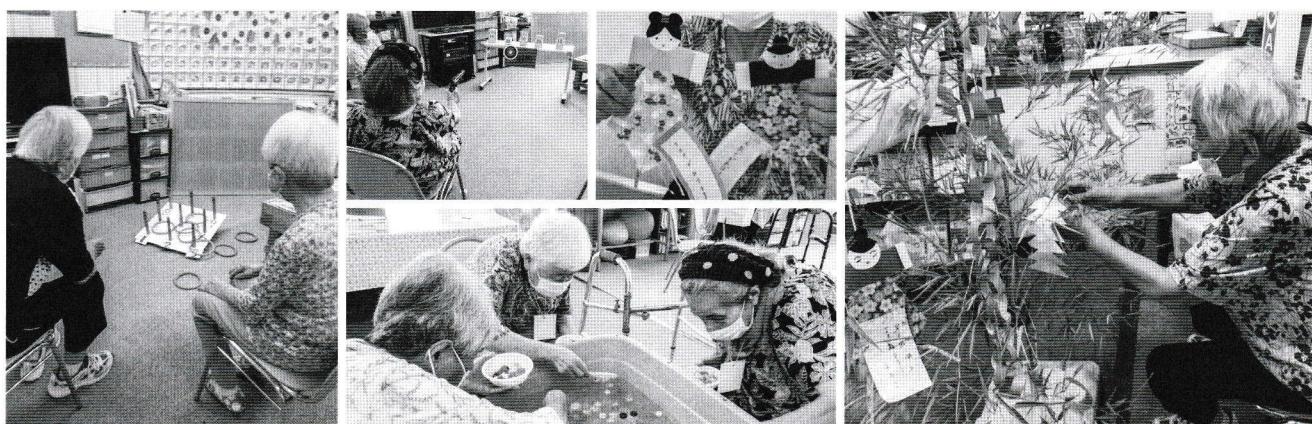
季節を感じながら笑って健康になれる場所

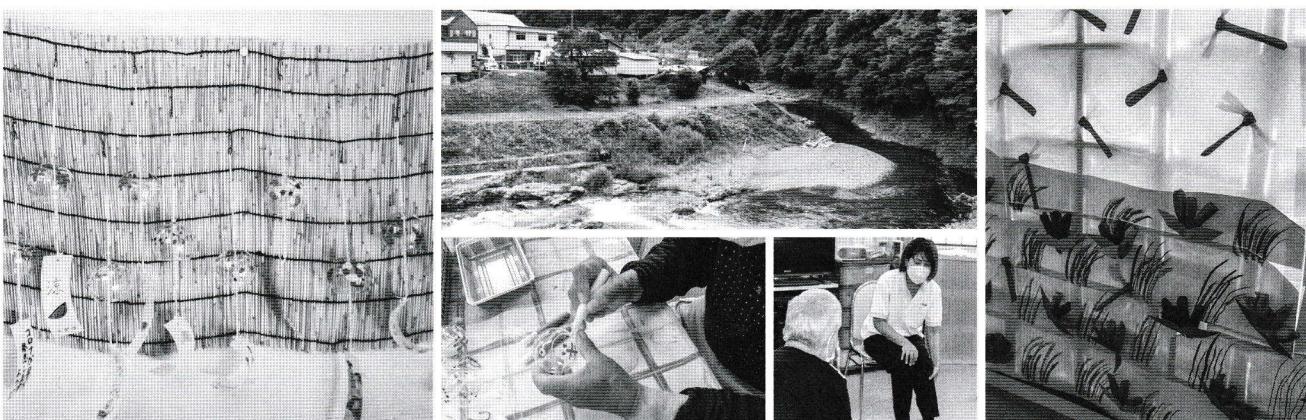
■デイサービス事業

9月、虫の声に秋の気配を感じる季節となりました。デイサービスでは、赤とんぼが飛び交う秋の壁画をつくりました。四季折々、季節を感じながら手先を動かし、思い出を語り合い、笑いと健康を意識して取り組んでいます。

7月には七夕飾り。短冊に願いを込めて飾り付けをしました。

8月には夏祭り。毎年行われていた地域の夏祭りも、コロナ禍で3年連続の中止となり、規模を縮小して、おもちゃの金魚すくいや射的、輪投げや盆踊り、おやつに





たこ焼きを食べました。

利用者は、「今度は本物の金魚をすくいたい！」「射的難しかつたわ」と会話が弾み、ほんのひと時でしたが、皆さん童心に帰つて楽しみました。

自宅での生活を支えます

■訪問介護事業

私たち（ホームヘルパー）は、利用者の方に少しでも長く、住みなれた美しい花園で暮らしていくよう、笑顔で訪問させていただきます。



■花園地域の人口と高齢化率（令和4年4月1日現在）

	上花園	下花園	全 体	5年前 との比較
世帯数	47世帯	122世帯	169世帯	△20世帯
人 口 数	73人	206人	279人	△59人
人 口 65歳以上	49人	110人	159人	△21人
高齢化率	67.1%	53.4%	57.0%	+3.7%

■高齢者生活福祉センター事業
花園地域にお住いの方で、高齢により自宅での生活に不安のある方、さらに身の回りのことを自分でできる方が入居し、一緒に生活をしています。
9月10日現在、4名の方が利用されています。

**■自宅での生活に不安がある
一緒に暮らせば安心**

梁瀬小学校から
マリー・ゴールドが届く

■地域・学校との連携事業

梁瀬小学校の児童が育てたたくさんの花（マリー・ゴールド）が、高齢者生活福祉センターに届けられました。

“花園を笑顔にしたい”という児童の思いと一緒に届けられました。



お問い合わせ

町社会福祉協議会 花園支所
(高齢者生活福祉センター)

☎ 0737-26-0344

4年ぶりの開催 かつらぎ町戦没者追悼式

平和の尊さを次代に継承する



3年間、台風の接近や新型コロナウイルスの影響により、中止を余儀なくされたかつらぎ町戦没者追悼式（町忠靈顕彰会主催）が、8月15日（月）、4年ぶりに総合文化会館で開催されました。

山根木弘修町自治区長会会長が開式を宣言し、中阪雅則忠靈顕彰会会长（かつらぎ町長）が「平和の尊さを次代に継承することが私たちに課せられた重大な使命である」と式辞を述べ、来賓の方々による追悼の辞、代表献花が行われました。

その後、笠田遺族会の坂口和代さんが、「戦争の恐ろしさや、長く続く苦しみを後世の皆さんに味わってほしくない」と思いを込めて献文を披露しました。

また、妙寺小学校の池田みのりさんと、妙寺中学校の森實穂乃佳さんが、平和な社会について考える作文を発表しました。最後に遺族会を代表し、岡崎好彦遺族連合会会長が、作文発表の子どもたちや参列の皆さんにお礼を述べ、4年ぶりに開催できた喜びと、これからも続けていきたいという思いを話されました。

平和な社会について 考える作文

1人でも多くの小学生や中学生の皆さんに平和な社会について考えてもらうことを目的として、町忠靈顕彰会は「平和な社会について考える」作文を募集しました。

町内の小学5年生から中学3年生まで429作品の応募がありました。

入賞された方々を紹介します。

（順不同 敬称略）

小学生の部

△優秀賞

「今こそ平和を考える」

妙寺小学校6年 池田みのり

△優秀賞

「平和な空」

大谷小学校6年 森本竜生

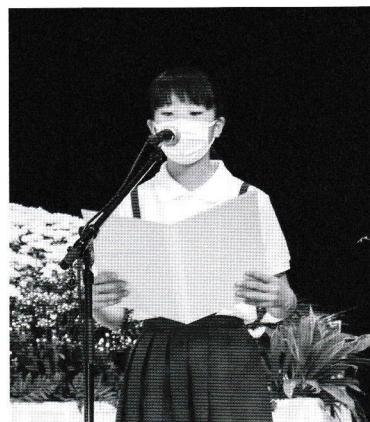
「平和ってステキだね」

大谷小学校6年 森本凌生

◎小学生の部
最優秀賞

今こそ平和を考える

妙寺小学校
池田いけだ
六年
みのりさん



た人達の墓よ。おじいちゃんのおじさんも戦死したからね。墓参りする家族すらない人もいるから、皆でお参りさせてもらうのよ。日本のために遠い所で戦つて、骨さえも帰つてこれなかつた人もたくさんいるのよ。」と教えてくれた。

生まれたときから、平和な時代
だつた私には、戦争と言われても
理解できないし、おばあちゃんも
戦争は知らないらしいので、たく
さんの人々の話や本を読んで学ん
で大人になつたら、子供達に伝え
ていつてほしいそうです。

私は今、社会科で憲法を習っています。日本国憲法の三つの原則の中に平和主義（外国とのもめ事を、絶対に戦争によつて解決しない）が定められていて、「日本は戦争をしないのだ。」と私は少しほつとしました。

私の家族は、いつもそろって墓参りをします。自分の家の墓に花や線香をたてて終わりではなく、いつもおばあちゃんが、「はい、これあつちの墓にも、たててきて。」

といふ墓石があります。

私は今までその墓に誰がねむつて
いるのか関心もなかつたし、お
ばあちゃんに聞きもしませんでし

た。なんとなく気になり、おばあちゃんに聞いてみました。「これはね、戦争に誰の墓」と。行つて、生きて帰つてこれなかつ

が間に入り話し合いをしてほしい
と思います。何度でも話し合えば、
いつかお互い理解できると信じて

「祖父から聞いた話」
笠田小学校6年 石原虎和
笠田小学校6年 白原煌大

獎勵賞

中学生の部

最優秀賞

「被爆アオギリ2世」

(作文は11月号で紹介します)

優秀賞

「私達の平和への一步」

笠田中学校3年 中谷
「世界の現状に目を向けて」
笠田中学校3年 なかだに
鈴木 すずき あやか
心美 こころみ 緋香

獎勵賞

「私たちへの使命」

「和がやの傳説」
妙寺中学校3年 久保明日香

「平和な社会をつくるために」
妙寺中学校1年 真田涼花
たなか ゆきな
一命と戦争どちらか大事?
さなだ りょう

笠田中学校2年
田中孝奈

夏のボランティア体験

「ありがとう」の
気持ちをこめて…

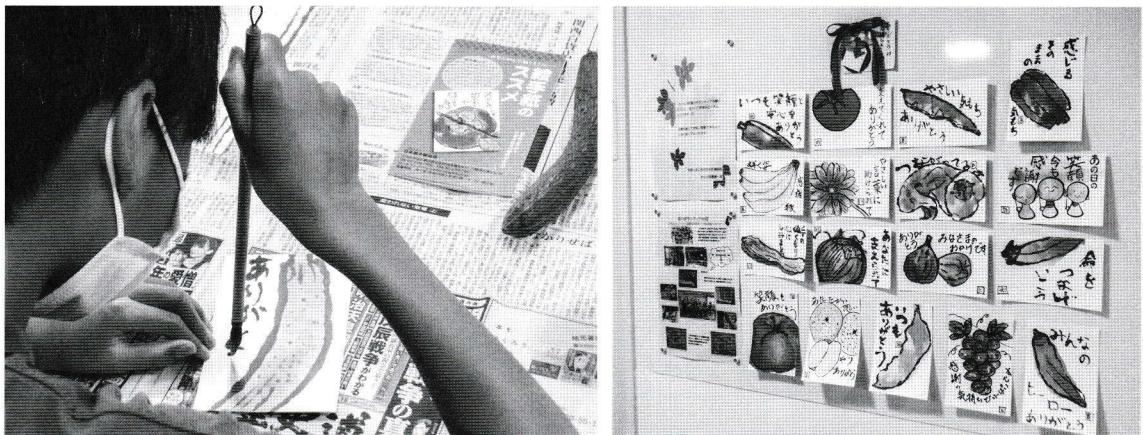
8月9日(火)と12日(金)、全2回コースで、「夏のボランティア体験」を実施しました。

今年のテーマは「エッセンシャルワーカー(医療従事者等)への絵手紙メッセージ」。コロナ禍により誰もが不安を感じる毎日の中で、私たちの日常を支えるために尽力されているエッセンシャルワーカーの実情を知り、「ありがとう」をカタチにすることを目指しました。

1回目の8月9日は、日本赤十字社和歌山県支部から講師を招き、コロナ禍での医療現場の実情や感染症に対する日々の工夫として●気持ちにゆとりをもつて、お互に理解し合うこと

●お互いにねぎらいと、敬意の気持ちをもつこと

など貴重なお話をいただきました。2回目の8月12日は、その学びから、身近に自分たちを支えてくれている人たちを思って、感謝の



キレイになつた平和公園
やりがいを感じた



「ありがとう」の気持ちは、伝えたい人を思つて、メッセージを送ることが大切であり、今回の体験事業を通して、笑顔の輪を広げることができました。

絵手紙をボランティアグループ絵手紙小組の協力を得て作成する時間としました。

参加者は「絵手紙でいろんな物をかいて送りたいと思いました」「絵手紙を送る相手を思つて考えてきました。楽しかったです」と相手を思うあたたかい感想をいたしました。

参加者8名が作成した絵手紙は、参加者のみなさん希望により、日頃お世話になつている医療関係者の方々に届けられました。

エッセンシャルワーカーの方々から「いただいた絵手紙を見るたびにいつも勇気をいただいています。医療を通じて地域のチカラになれるように頑張ります」とお声をいただき、大変喜んでいただきました。

8月14日(日)、遺族会の皆さんと一緒に笠田高校の生徒3名が、かつらぎ公園内にある合同忠魂碑と周辺の清掃活動を行いました。

集合した時に雨が降り始め、天候が不安定で心配しましたが、生徒や遺族会の皆さんパワードで雨も止み、清掃を無事終えることができました。翌日15日には、かつらぎ町戦没者追悼式に先立ち忠魂碑前で献花が行われ、参列した方々を気持ちよく迎えることができました。

参加した生徒は、キレイになつた平和公園を見て「ボランティアしてよかったです」「やりがいを感じた」「地域の方と一緒にできたのがとてもよかったです」と話していました。

善意のご寄付

(8月1日～8月31日 敬称略)

次の方々から社会福祉協議会へ善意の寄付をいただきました。寄付金は、広く地域福祉活動の推進に役立てさせていただきます。

◆遺志として

寺内 将記	亡父 右宜	丁ノ町
堀内 純子	亡父 正美	笠田東
森本 義憲	亡母 良	妙寺
向井 由明	亡父 正臣	教良寺
谷口 環	亡母 田中ヨシ子	丁ノ町
青木家	亡 博子	柏木
小原 輝久	亡母 八重	萩原
坂本 真市郎	亡父 和美	西渋田
辻 俊孝	亡父 昭利	三谷
山崎 真	亡母 重子	丁ノ町
藪本 裕幸	亡母 つる子	短野
山口 大介	亡祖母 貞子	三谷
廣畠 俊美	亡妻 千代	丁ノ町

◆篤志寄付として

山崎 真 (亡母 重子さんの貯金箱)

ありがとうございました

ありがとう

(8月1日～8月31日 敬称略)

★使用済切手・ハガキ収集に協力いただいた方

日進化学(株) 和歌山工場

ボイスカウト伊都第3団

(株)平岡広建設・(株)作部屋商店

遍照寺檀家一同・匿名4件



★高齢者生活福祉センター(花園支所)

に食材料を提供いただいた方

坪井 香代子(野菜類)

★ウクライナ人道危機救援金に協力いただいた方

一日本赤十字社かつらぎ町分区受付分

池田 迪哉



一人にさせないために

赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金は、「けっして一人じゃない。一人にさせない」ために、支え合いの心をつなぎ、つながりをたやさない地域の活動を支援します。

令和5年3月31日(金)まで



募金活動に
ご協力を
お願ひします

新しい年へ希望をつなげるために

歳末たすけあい募金

歳末たすけあい募金は、生活に困っている世帯や福祉施設を利用している子どもたちが、希望を持って新年を迎えるよう支援します。

令和4年11月25日(金)まで

募金・お問い合わせ かつらぎ町共同募金委員会(町社会福祉協議会) ☎ 0736-22-4311

もの忘れ相談

10月3日(月)・17日(月)

受付 13時～15時(先着順)

場所 町地域福祉センター2階

問合せ 町地域包括支援センター

☎ 0736-22-2322

年相応のもの忘れ?認知症?迷ったら
ご相談を(当日電話での相談可能)

無料法律相談

10月11日(火)・24日(月)

受付 13時30分～15時30分(先着順)

場所 町地域福祉センター2階

問合せ 町社会福祉協議会

☎ 0736-22-5222

法的なトラブルに弁護士が相談に応じて
います(相談時間は16時まで)

ふくし何でも相談

月～金曜日(祝日除く)

受付 8時30分～17時15分

場所 町地域福祉センター2階

問合せ 町社会福祉協議会

☎ 0736-22-5222

日常生活上の困りごとに幅広く対応
職員が相談に応じています

10月 October 2022 ふくし・ボランティア カレンダー

社会福祉協議会・福祉団体

1	土	赤い羽根共同募金運動（～3月31日）	
2	日		
3	月	もの忘れ相談（13:00～15:00）	
4	火		
5	水	 <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 10px; border-radius: 10px; margin-left: 20px;"> <p>赤い羽根共同募金・ 歳末たすけあい募金に ご協力ををお願いします</p> </div>	
6	木	朗読山びこ（9:00～14:00） つれもてカフェ（13:30～15:00）cafeころーれ	
7	金	友愛電話（丁ノ町、新田、妙寺、中飯降、短野、高田 笠田西部、笠田中、真和、四郷第一、四郷第二） 手話サークル夢（13:30～15:00）	
8	土		
9	日		
10	月	体育の日	
11	火	無料法律相談（13:30～15:30） つれもてカフェ（13:30～15:00）みまもりショップ杏	
12	水		
13	木		
14	金	友愛電話（笠田東第一、笠田東第二、佐野、大谷、三谷、 東渋田、西渋田、中央部、四邑、志賀、天野、新城） つれもてカフェ（10:00～11:30 喫茶たんぽぽ）	
15	土		
16	日		
17	月	もの忘れ相談（13:00～15:00）	
18	火	布のおもちゃ（13:30～16:00）	
19	水		
20	木	認知症家族の会（13:00～15:00）	
21	金	手話サークル夢 要約筆記勉強会（10:00～12:00） 手話サークル夢（13:30～15:00）	
22	土		
23	日		
24	月	無料法律相談（13:30～15:30） つれもてカフェ（13:30～15:00）エスキース	
25	火		
26	水		
27	木	点字サークルあすなろ（9:00～12:00） つれもてカフェ（13:30～15:00）ディサービス夢心	
28	金		
29	土		
30	日		
31	月		

地域のボランティア活動

手話伊都手のひら（19:30～21:00）妙寺公民館
よりみち・ひきこもり相談会 ※要電話予約
(13:30～15:30)大谷地域交流センター
よりみち・親の会（19:00～21:00）大谷地域交流センター
手話サザエさん（19:30～21:00）笠田ふるさと交流館
ブラインドマラソン伴B（20:00～21:00）かつらぎ公園堤防

ひきこもり青年のための「居場所」

日時 月～金曜日（祝日除く）13:30～15:30
※ 7日（金）は昼食会（創作cafe）(12:30～紀の川市粉河)
※11日（火）は小中高生居場所（ハイアソシケイづくり）
※14・28日（金）は女性居場所

場所 大谷地域交流センター

（問）NPO法人よりみち ☎090-7093-9595 ←

ブラインドマラソン伴B（20:00～21:00）かつらぎ公園堤防

つれもてカフェ

赤ちゃんから高齢者までどなたでも
自由に参加することができます。

認知症について気軽に学び、同じ
悩みを持つ方とつながり、専門的
な相談もできます。（6日・11日・14日・24日・27日）



（問）地域包括支援センター ☎0736-22-2322

三ツ葉会（13:30～15:00）丁ノ町地域交流センター

手話伊都手のひら（19:30～21:00）妙寺公民館

手話サザエさん（19:30～21:00）笠田ふるさと交流館

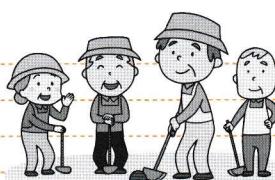
ブラインドマラソン伴B（20:00～21:00）かつらぎ公園堤防

はっぴーサークル（13:30～15:30）笠田ふるさと交流館

国内義援金/海外救援金の募集

- 令和4年8月3日からの大雨災害義援金
(令和5年3月31日まで)
- 2022年パキスタン洪水救援金
(令和4年11月30日まで)
- その他の募集、協力方法 日本赤十字社

ブラインドマラソン伴B（20:00～21:00）かつらぎ公園堤防



新型コロナウイルスの影響により活動が中止となる場合があります

★実施場所の掲載がない所は、
地域福祉センターです。



この広報紙は一部共同募金の助成を受けて発行しています

2022(R4).10 Vol. 295